

日時	平成 27 年 10 月 15 日 16:10～18:30
派遣先	千葉県立千葉東高等学校
活動内容 生徒数：12 名	16:10 ごろ 生徒が校門でお出迎え 16:20～17:30 生物部・地学部・化学部の 3 つに分かれて発表。留学生も各々の専攻を活かして 3 班に。 生物部（他 2 班も流れは同じ。） ①高校生による生物部の活動紹介 一年生が、学園祭での活動を中心に発表していた。 ②高校生による研究発表 ミジンコの研究、補色についての研究など、二年生が中心となって研究発表をしていた。 ③生物部で飼育している生物の紹介 スッポン、ウーパールーパー、亀、ネズミなどを高校生が留学生に紹介していた。実際に動物に触れたり、近寄ったりしていて留学生も関心を持っていた。時折、留学生が自国にいる動物について紹介する姿も見られ、大変盛り上がっていた。 ④留学生によるポスター発表 インドネシアの留学生がポスターを用いて研究発表をした。高校生は、わからない箇所を積極的に質問していた。正しい英語でなくても、一生懸命伝えようとしている姿が見られた。 17:30～18:30 懇談会 お菓子と飲み物を用意していただき、留学生、生徒、教師、チューターを交え、自由に話していた。 
派遣先教員 コメント	回数を重ねるごとに生徒の成長を感じております。最初は話についていけない生徒も、終わるころには会話に参加している様子を見てとても良い経験になっていると感じました。今後もこのような活動をしていきたいと考えております。
留学生 コメント	That day I am very lucky to know how high school in Japan was very impressive. They learn by themselves what they want. And the school gave the facilitation as well as they need. Student in Japan was very lucky to have such kind of opportunity. They study astronomy very well.
学生リーダー コメント	高校生は用意していた発表については難なくこなしていたが、留学生の研究発表はレベルの高いものだったため、一語一語よく噛み砕いたものでないと理解が難しそうであった。しかし、お互いに質問をよくし合っており、留学生にとって初の体験となる太陽を望遠鏡で見るといったこともしており、活発な交流となったように感じられる。全体での交流会は留学生に日本の食文化の一端を紹介し、非常に活気あふれるものとなっていた。